

お客様各位

資料中の「ラピスセミコンダクタ」等名称の ラピステクノロジー株式会社への変更

2020年10月1日をもって、ラピスセミコンダクタ株式会社のLSI事業部門は、ラピステクノロジー株式会社に分割承継されました。従いまして、本資料中にあります「ラピスセミコンダクタ株式会社」、「ラピスセミ」、「ラピス」といった表記に関しましては、全て「ラピステクノロジー株式会社」に読み替えて適用するものとさせていただきます。なお、会社名、会社商標、ロゴ等以外の製品に関する内容については、変更はありません。以上、ご理解の程よろしくお願いたします。

2020年10月1日
ラピステクノロジー株式会社

Dear customer

LAPIS Semiconductor Co., Ltd. ("LAPIS Semiconductor"), on the 1st day of October, 2020, implemented the incorporation-type company split (shinsetsu-bunkatsu) in which LAPIS established a new company, LAPIS Technology Co., Ltd. ("LAPIS Technology") and LAPIS Technology succeeded LAPIS Semiconductor's LSI business.

Therefore, all references to "LAPIS Semiconductor Co., Ltd.", "LAPIS Semiconductor" and/or "LAPIS" in this document shall be replaced with "LAPIS Technology Co., Ltd."

Furthermore, there are no changes to the documents relating to our products other than the company name, the company trademark, logo, etc.

Thank you for your understanding.

LAPIS Technology Co., Ltd.

October 1, 2020

ラピスセミコンダクタ 8/16 ビットマイコン データ・フラッシュ領域のデータを ファイルに保存する方法

発行日 2018 年 12 月 7 日

ご注意

- 1) 本資料の記載内容は改良などのため予告なく変更することがあります。
- 2) ラピスセミコンダクタは常に品質・信頼性の向上に取り組んでおりますが、半導体製品は種々の要因で故障・誤作動する可能性があります。
万が一、本製品が故障・誤作動した場合であっても、その影響により人身事故、火災損害等が起こらないようご使用機器でのデイレーティング、冗長設計、延焼防止、バックアップ、フェイルセーフ等の安全確保をお願いします。定格を超えたご使用や使用上の注意書が守られていない場合、いかなる責任もラピスセミコンダクタは負うものではありません。
- 3) 本資料に記載されております応用回路例やその定数などの情報につきましては、本製品の標準的な動作や使い方を説明するものです。したがって、量産設計をされる場合には、外部諸条件を考慮していただきますようお願いいたします。
- 4) 本資料に記載されております技術情報は、本製品の代表的動作および応用回路例などを示したものであり、それをもって、当該技術情報に関するラピスセミコンダクタまたは第三者の知的財産権その他の権利を許諾するものではありません。したがって、上記技術情報の使用に起因して第三者の権利にかかわる紛争が発生した場合、ラピスセミコンダクタはその責任を負うものではありません。
- 5) 本製品は、一般的な電子機器 (AV機器、OA機器、通信機器、家電製品、アミューズメント機器など) および本資料に明示した用途への使用を意図しています。
- 6) 本資料に掲載されております製品は、耐放射線設計はなされていません。
- 7) 本製品を下記のような特に高い信頼性が要求される機器等に使用される際には、ラピスセミコンダクタへ必ずご連絡の上、承諾を得てください。
・輸送機器 (車載、船舶、鉄道など)、幹線用通信機器、交通信号機器、防災・防犯装置、安全確保のための装置、医療機器、サーバー、太陽電池、送電システム
- 8) 本製品を極めて高い信頼性を要求される下記のような機器等には、使用しないでください。
・航空宇宙機器、原子力制御機器、海底中継機器
- 9) 本資料の記載に従わないために生じたいかなる事故、損害もラピスセミコンダクタはその責任を負うものではありません。
- 10) 本資料に記載されております情報は、正確を期すため慎重に作成したものです。万が一、当該情報の誤り・誤植に起因する損害がお客様に生じた場合においても、ラピスセミコンダクタはその責任を負うものではありません。
- 11) 本製品のご使用に際しては、RoHS 指令など適用される環境関連法令を遵守の上ご使用ください。お客様がかかる法令を遵守しないことにより生じた損害に関して、ラピスセミコンダクタは一切の責任を負いません。本製品の RoHS 適合性などの詳細につきましては、セールス・オフィスまでお問合せください。
- 12) 本製品および本資料に記載の技術を輸出または国外へ提供する際には、「外国為替および外国貿易法」、「米国の輸出管理規則」など適用される輸出関連法令を遵守し、それらの定めにしたがって必要な手続きを行ってください。
- 13) 本資料の一部または全部をラピスセミコンダクタの許可なく、転載・複写することを強くお断りします。

Copyright 2018 LAPIS Semiconductor Co., Ltd.

ラピスセミコンダクタ株式会社

〒222-8575 神奈川県横浜市港北区新横浜 2-4-8
<http://www.lapis-semi.com>

目次

1. はじめに.....	1
2. 対象商品	1
3. データ・フラッシュ領域のデータをファイルに保存する方法	2
3.1 インテル HEX 形式ファイル.....	2
3.2 モトローラ S2 フォーマットファイル.....	3
4. 改版履歴	4

1. はじめに

本ドキュメントは DTU8 デバッガにて、データ・フラッシュ領域のデータをファイルに保存する方法について記載しています。

2. 対象商品

ML62Q1000 シリーズ
ML610Q100
ML620Q100
ML620Q500

3. データ・フラッシュ領域のデータをファイルに保存する方法

データ・フラッシュ領域のデータをファイルに保存するためには、DTU8 デバッガにて「プログラムファイルの保存」を選択し実行します。

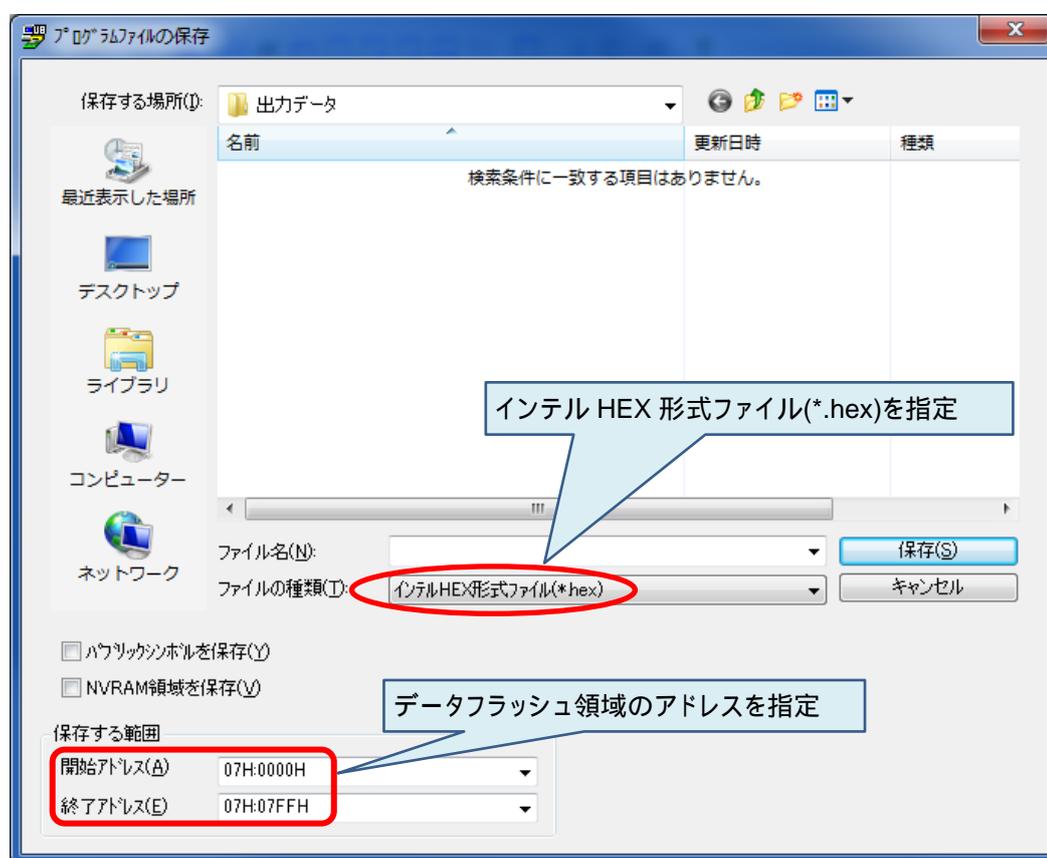
「プログラムファイルの保存」では保存するファイルの種類を選択する必要があります。

ファイルの種類には 2 種類(インテル HEX 形式ファイル, またはモトローラ S2 フォーマットファイル)あり, 保存できるアドレス範囲が異なります。

3.1 インテル HEX 形式ファイル

インテル HEX 形式ファイルで保存できるアドレスは”00H:00000H ~ 0FH:0FFFFH”の範囲です。

例えば, ML620Q136B のデータ・フラッシュ領域は”07H:0000H ~ 07H:07FFH”に割り当てられています。この場合, 下記に示すようにインテル HEX 形式ファイルを選択し, 保存するアドレス範囲を指定してください。



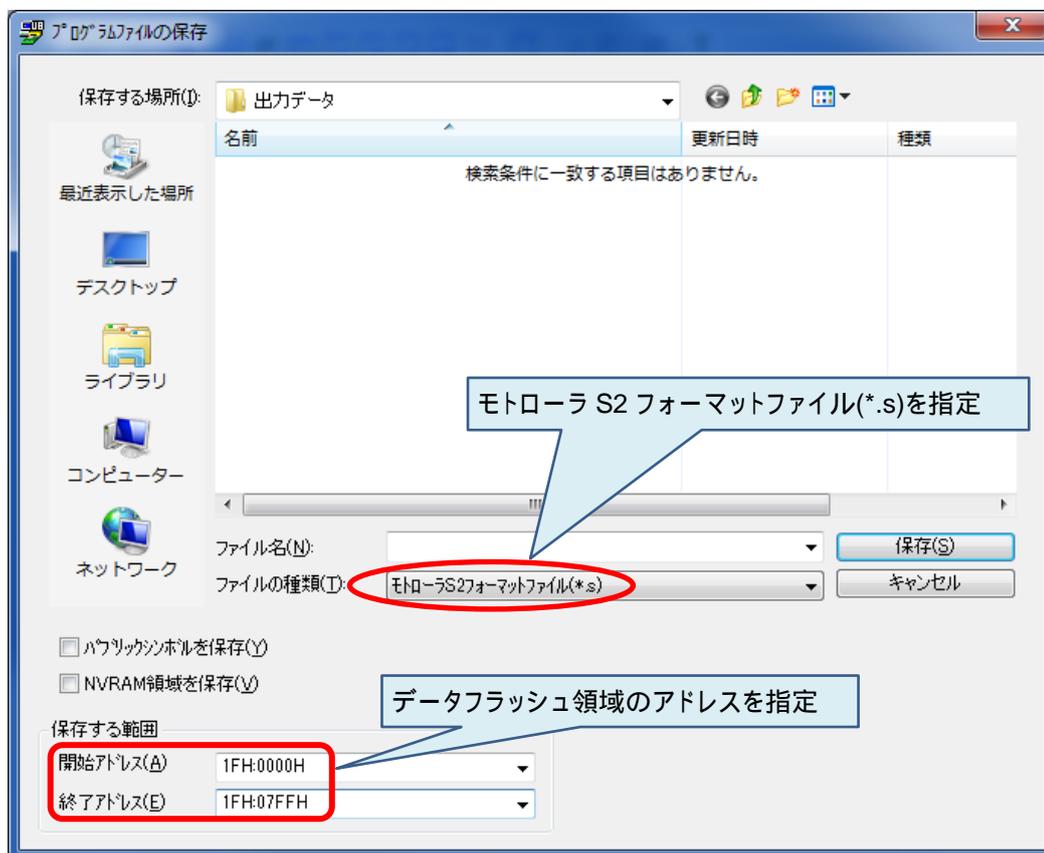
【注意】

- Y インテル HEX 形式ファイルは”10H:00000H”以上のアドレスには対応していません。ML62Q1000 シリーズのデータ・フラッシュ領域は”1FH:0000H ~ 1FH:07FFH”の範囲ですので, インテル HEX 形式ファイルでは保存できません。ML62Q1000 シリーズのデータ・フラッシュ領域のデータをファイルに保存する場合は, モトローラ S2 フォーマットファイルを選択してください。詳細は, 「3.2 モトローラ S2 フォーマットファイル」をご参照ください。

3.2 モトローラ S2 フォーマットファイル

モトローラ S2 フォーマットファイルで保存できるアドレスは”00H:00000H ~ 0FFH:0FFFFH”の範囲です。

例えば, ML62Q1000 シリーズのデータ・フラッシュ領域は”1FH:0000H ~ 1FH:07FFH”に割り当てられています。
この場合, 下記に示すようにモトローラ S2 フォーマットファイルを選択し, 保存するアドレス範囲を指定してください。



4. 改版履歴

ドキュメント No.	発行日	ページ		変更内容
		改版前	改版後	
FJXL_MCU_DFLASHOUT-01	2018.12.7	-	-	初版発行